

団体名

渡名喜村立渡名喜小学校

連絡先 TEL:098-989-2005

Eメール: tonaki-syou@tonaki.ed.jp

1 実践事項 「自ら進んで考える力を身につけた児童の育成」

(②カリキュラムマネジメント(教科横断的な取組))

2 実践内容

本校では、離島僻地校で少人数学級であり、複式授業の中で学びを充実させる必要がある。そのため本校児童の課題となっている読解力と説明力を身につけるため、授業改善と粘り強く学習に取り組む態度の育成を通して基礎学力の定着に取り組んでいる。

(1)「問い」を持ち、主体的に学ぶ授業作り

○授業改善として、各教科において、子供の「問い」を引き出す工夫、子供の「問い」と「めあて」、「まとめ」が連動する授業作りを意識するようにしている。特に身につけさせる力としての「まとめ」を先に考えた後に「めあて」をたてることを小学部全体で共通確認し実践に繋げている。

(2)粘り強く学習に取り組む態度の育成

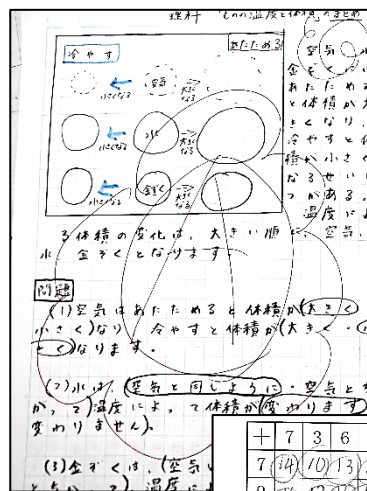
○毎日の補習時間に百マス計算や漢字検定練習問題、金曜日の放課後は、個に応じた課題を中心にプリント学習、家庭学習では教師から与えられた学習にプラスαで自主的に学習することを推奨。

○学習面だけでなく運動面でも、チャレンジマラソンや一輪車チャレンジといった、自ら目標を立て、それに向けて挑戦していく場の設定を行っている。

3 説明資料(主体的に粘り強く学習に取り組む態度の育成に向けた取組)



自学の力の育成に向けて、家庭学習プラスαを推奨し、プラスαを達成できたらA評価のシールを貼る取組。



家庭学習+α

授業で学習したことをふり返ってアウトプットしている。

百マス計算
計算タイムを
毎回比較し、自
分の成長を可
視化。

+	7	3	6	8	1	5	4	9	0	2
7	14	10	13	15	8	12	16	17	9	
9	16	12	15	17	10	14	13	18	11	
5	13	8	17	13	6	10	9	14	11	
0	11	3	6	8	1	5	4	9	0	2
6	13	4	12	14	7	11	10	15	6	8
2	9	5	8	10	3	7	6	17	2	4
1	8	4	9	9	2	6	5	10	4	13
4	10	11	10	12	5	8	8	13	4	6
3	10	6	9	11	4	8	7	12	3	5
8	15	11	14	16	9	13	12	17	8	10



百マス計算、漢字検定練習、個に応じた課題に取り組む補習の様子。

4【成果○・課題●】

○組織的に取組内容の共有化を図ったことで、ベクトルをそろえた実践ができ、授業改善に繋がった。

○児童一人ひとりの努力や成果を賞賛することでプラスαを頑張る子が増え、学習意欲が出てきた。また、百マス計算が速くなった、漢字力が徐々についてきたことで子供達の自信となり、全体的に基礎学力の向上が見られた。

●複式授業での間接指導時の教師は、子供達がどこまで学習ができたか、深められたかななどの細やかな見取りが難しい。複式授業の進め方、学習のずらしなどの工夫が必要。